



わがまち

編集・発行
わがまち編集委員会
〒285-0859
佐倉市南ユーカリが丘1番地1
TEL.043-487-8111(代)
FAX.043-487-8116
発行月/1・4・9月(担当/清水)

防災のまち ユーカリが丘の創造 東北関東大震災で被災された方々に心より御見舞い申し上げます。

■防災フォーラムから学ぶ 教訓

2011年3月6日(日)、志津コミュニティセンターにおいてユーカリが丘地区自治会協議会(針木 均会長)主催で「防災フォーラム2011 いざという時の備え、万全



山村 武彦 防災システム研究所所長

■東北・関東大地震の発生 講演会から5日後の2011年3月11日(金)14時

ですか?」が開催され、防災システム研究所所長の山村武彦先生の「見直そう我が家の防災対策」を演題とする基調講演の後、パネリスト及び参加者を含めたディスカッションが行われました。先生は、「自宅・事務所内の対策、避難の方法、自主防災組織の在り方、そして向こう三軒両隣の重要性を指摘し、実行する事の必要性を力説」されました。



パネルディスカッションの様子

46分。図らずもマグニチュード9という未曾有の巨大地震と想像を絶する津波による被害は、東北地方から関東に至る広域において筆舌も及ばぬ甚大で悲惨なものとなりました。佐倉市でも震度6弱の揺れがあり、家屋倒壊件数22件で千葉県下4番目の被災地域と指定されました。ユーカリが丘では、幸いにも死傷者はないものの、家屋の屋根・外壁の一部に損傷、又マンション高層階では家具類の転倒被害も見られ、過去に経験した事のない大きな揺れや、引き続き頻発する余震への恐怖、そして停電ガス供給の停止・断水等への生活不安に襲われた災害でありました。

「防災フォーラム」に寄せて ユーカリが丘地区自治会協議会会長 針木 均
ユーカリが丘地区自治会協議会では、ユーカリが丘地域で4回目(※1)となる「防災フォーラム」を、3月6日(日)コミセン大ホールで開催しました。
講師にお迎えしたのは、激甚災害を伝える報道番組にも度々登場され、防災に関する著作も数多く出版されている、防災システム研究所 山村 武彦所長にお願いしました。
現場主義を貫かれています先生は、2月22日に発生したニュージーランド大地震の現地調査から戻られたその足で、成田から直接会場に來られ、休む間もなくエネルギーに現地の生々しい被害の状況を映像を交えながら、防災に対する心構えと、災害時に一番機能する組織(近助!!)いわゆる向こう三軒両隣などについて、時にはユーモアを交えながら、予定時間をオーバーして熱演され、災害時に機能する組織作りの遅れに警鐘をならし続けておられました。
まさか、その5日後に未曾有の東北関東大震災が発生するとは知る由もなく、平和な町並みを一瞬にして瓦礫の山にしてしまった、大自然の猛威に唖然とするしかありませんでした。
地球の営みは一見緩やかですが、エネルギーを溜め込むむいた時の激しさは、際限がないことを改めて痛切に思い知らされると同時に、自然の猛威は人も場所も時間も選びません。
一方では、ほっとしている自分を戒めつつ、もうないだろうという先入観を根底から見直すための警鐘を、天が鳴らしているのだとの思いを強く抱き、改めて身の回りを見直している次第です。
今回の「防災フォーラム」にあたり、多忙な年度末にも係わらず参加を頂いた自治会員の皆様、開催に漕ぎ着けるまで、お骨折りを頂いたワイエムメンテナンスの島



針木 均 ユーカリが丘地区自治会協議会会長

村さん、協賛を頂いた山万(株)様に、心から感謝申し上げます。
この度の東北関東大震災で被災された方々に、哀悼の意と心からの御見舞いを申し上げますと同時に、一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。結びとします。
※1 第1・2回 ユーカリが丘商店連合会主催 第3回 自治会協議会主催

左の写真(例)の自動販売機がユーカリが丘内の山万グループ(山万、ワイエム、メンテナンス、ワイシユトンホテルユーカリ、光陽、アクアユーカリ、ユーカリ優都会)の施設内にこの4月より順次設置されます。
この自販機は(1)災害時にメッセージボードから地域情報等が発信される機能があり、避難場所等では貴重な情報源となります。(2)緊急時には機内在庫が防災用備蓄水になります。(3)自販機は募金受入の機能を持つっており、日頃から防災サポートの体制づくりに貢献します。ご利用者さんの募金利根コカ・コーラボトリング(株)さん、そして山万グループの支援で防災対策の応援をしていきます。この自販機がユーカリが丘内に設置され、稼働することにより、利根コカ・コーラボトリング(株)さんからは別途ユーカリが丘における備蓄水が毎年定量的に提供されることになり、地域貢献していただくこととなります。

■「さらなる安心・安全対策への取組み」 自動販売機のシステムマイククな活用ー利根コカ・コーラボトリング(株)さんの協力

この震災では、災害発生時の飲用水の確保がいかに重要かを思い知らされました。
ユーカリが丘の防災対策は、諸々進められてきましたが、この事態に備えるため、利根コカ・コーラボトリング(株)さんと協力して、新たな仕組みづくりに取り組んでいます。さらなる「安心・安全のまちづくり対策」としてご紹介



募金受入機能付



メッセージボード付き自動販売機(イメージ画像)

自販機の機能的な進歩は目覚ましく、ソーラー付自販機の誕生も見られるなど、今後の防災対策にもきめ細かい、臨機応変な機能を生かした利用が大いに期待されます。

地域の支援活動

ユーカリが丘地区は、これまでも地域一体となって防災体制の整備を行ってきました。「備えあれば憂いなし」の例えを覆す程の規模でありましたが自主防災組織の組成、防災訓練の実施、防災フォーラム・防災シンポジウム等を通じた啓発活動等による三位一体での地道な取り組みによる成果と今後の対応について取材しました。

(1) 宮ノ台1丁目防災会

当自主防災会は、輪番制の役員構成ではなく、固定した役員を設置し、見守り体制を組んでいること、又、訓練においても、役割りの確認をしつつ実施してきた為、今次災害発生への対処も、スムーズに行えた。

具体的には、安心ユニフォームのベストを着用して、見守りが必要な登録者への安否確認と支援の実施、住宅の被害状況の確認の告知、ガスの復旧方法の説明と実行支援(計画停電の実施が予定されると即時に停電II断水から発生する問題への対処を通知し、山万さんが用意した防災井戸の活用等を周知、又余震への十分な注意を喚起した等)、改めて日常的にコミュニケーションの強化に努め、共助の必要性を訴えてきた成果が出たものと考えている。

今後の被害状況への対応を確認する中で、今後の課題として考えている事は、さらに厳しい災害発生となった場合も考慮して、避難所に指定されている青菅小の使い方を避難訓練時にシミュレーションしておく必要があること、けがが人・病人等の一次避難所からより安全な場所を確保するため、公共、福祉・病院等収容の可能な施設との連携を求めていきたい。

これからも想定外の災害発生を予見しつつも、地域住民が共に安心して暮らせる様に、日頃の活動に注力して期待に応



宮ノ台1丁目自主防災会訓練の様子

えていきたい。

(2) 小竹小学校PTA 神藤会長にお伺いしました。(今次防災フォーラムパネリスト)

3月11日、東日本での大震災で被災された多くの方々へ心よりのお悔やみと哀悼の意を表します。そして、一刻も早い復興への取り組みが順調になされますことを心よりお祈り申し上げます。

地震発生時、小竹小学校では4年1組の児童24名が、6時間目の授業途中で校内に残っていました。学校では、年5回の避難訓練を行っていたことから、防災頭巾の活用、保護者への引渡しが行われました。一方、電話のアクセスの問題で、先生から保護者の皆さんへ連絡がなかなか取れないケースもあり、大変であったように聞きました。



神藤 敏正 小竹小PTA会長

なお、小竹小学校は避難場所として佐倉市に指定されていますが、体育館は今回の地震による被害で、入室および使用が禁止となりました。従来より、耐震診断で強度不十分の結論がだされてきたようですが、今回の地震で怪我がなかった。体育館は、小さな児童の学びの場、災害時の防災基地として住民にとつて大変重要な場です。体育館の耐震補強あるいは建て替えなどの計画の前倒しは、今後タイムリよくご検討いただきたいと思ひます。

山万グループの一連の支援活動について取材しました。

① 安全・安心対策

山万グループ5社では「安心・安全なまちづくり」の二環として、地震のような広域災害に備えてユーカリが丘地区を中心に据えた防災対策活動指針を定めています。これに基づき防災井戸の設置や発電機、照明設備等の防災対策用品を計画的に整備するとともに、これらを活用した訓練を毎年行ってきました。

今次巨大地震は、3月11日14時46分、当地区でも震度6弱の強烈な揺れでありました。この激震は予断を許さない被害を発生させたのではないかと判断し、即刻ユーカリが丘駅北口の山万インフォメーションセンターに「災害対策本部」を設置して支援活動に入りました。

第一段階は、地域内の被害状況と住民皆様の安否確認であり、全ての情報を対策本部に集約することでした。直後は特に携帯電話が使えず、通信手段が絶えた状況で苦労しましたが、ワイ・エム・メンテナンスのパトカー無線を使し、又グループ社員総動員による情報収集活動により、発災後1時間程度で要救助者はいないことが判明しました。同時に高

層マンションでは家具類の転倒等による閉じ込め状態も想定されたことから、高齢者・単身世帯の安否をマンション管理人や社員の訪問により確認をし、同時に転倒家具類の修復等安全の為の応急措置を実施しました。初日夕刻には救助対策も終了し安堵いたしました。夜にかけては、余震も多発したことから、一時避難場所として、集会室等の開放手配を行い、又京成線の運休による帰宅困難者の皆様にはウイシユトンホテルの開放も行いました。

第二段階では、生活インフラの確保・復旧が急務であり、エレベーターの稼働・ガス供給の復旧を急ぎました。又余震対策として、危険箇所の応急養生・立ち入り禁止措置を行いました。さらに高齢者安否確認につ

づき、戸建て・マンション全戸に對し被災状況と安全確認の為の訪問を実施致しました。ユーカリが丘線の軌道損傷も数ヶ所発生しました。軽微ではありましたが、安全性最重視の為運休して修復作業を進め、4月1日より一部において運行を再開、4月8日には全面開通する予定です。

さらに、福島第一原子力発電所の被災による供給電力の低下に伴う計画停電の実施は、想定外の生活不安を引き起こす懸念があると考え対処致しました。地域全域での長時間の停電は初めての事で安全確保の為、夜間に計画されていた時間帯にクライネスサービスと合同パトロールを30名体制で編成し、夜回りを実施。又、エレベーターの閉じ込め防止や停止中の高齢者対策のため、各エレベーター室に作業員・補助員の各2名を配置する体制を整え対処しました。同時に停電による断水を想定し、各所の防災井戸の自家発電装置の稼働の準備を進めました。計画停電実施の初日・2日目が夜間の予定地域でありましたが、中止となりました事は幸いでした。



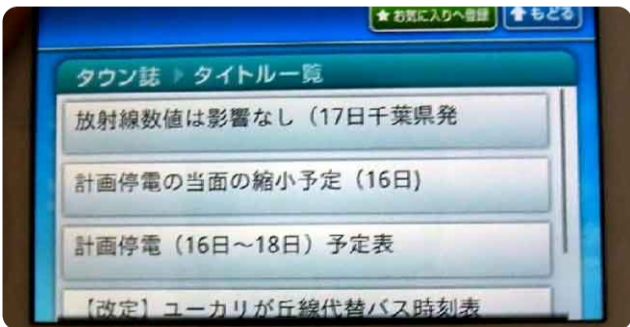
災害対策本部から夜間パトロールへ

また、地域情報の正確・迅速な発信にも注力し、光フレームの活用が有効に作動しました。以上のように未曾有の被害と影響を受けたこの災害への対応には迅速さと臨機応変さが求められ、山万グループ総力を結集した対応を実施してまいりました。1日毎に平常化が進み、3月19日には、マンション各施設に對し、安全宣言も発信しました。

② 生活支援対策

地震発生から日を追うにつ

この度の「お見舞い」としてお届けいたしました「お米」と「アクア・ユーカリ特別ご招待券」は、家族である私どももこのようにお気持ちをお伝えするものとして、ご用意したものであり、ご安心いただく一助に、そして「安心」の4日間を無料でご入浴日として開放もいたしました。引き続き二時の癒しの場所としてお使いいただければ幸いです。また、ご協力



光フレームから災害情報を発信

れ、この震災が途方もなく巨大な被害をもたらした事実が判明し、東北・関東のライフラインは全くのマヒ状態となつてしましました。原子力発電所の被災による事故等が追い打ちを掛ける事態となり、当地区も数日の間で生活環境は激変し、計画停電の実施、燃料類の激減等不安材料が急速に高まつてまいりました。とりわけ、スーパーコンビニから食料品が二斉に無くなる事態は、先々の生活不安を二気に引き起こすことになりまして。ご高齢者をはじめ、買い回りができないご事情のある方々にとりましては、戸惑いと不安感はいくばかりのものかと懸念する状況に至りました。

山万にとりまして、ユーカリが丘二タウンの開発着手以来初めての体験であり、天災として避けられない事態であるとはいえ、この地ユーカリが丘をご選択いただき、これまでにも共に良い街づくりに取り組んでいただき、これからもずっと住み続けていただくユーカリ住民の皆様に対しましては、何としても生活不安要因を取り除いていく事が、私たちの責任と考えています。ユーカリが丘二タウンにお住まいの皆様は、私ども共々一つの家族とも考えています。

この度の「お見舞い」としてお届けいたしました「お米」と「アクア・ユーカリ特別ご招待券」は、家族である私どももこのようにお気持ちをお伝えするものとして、ご用意したものであり、ご安心いただく一助に、そして「安心」の4日間を無料でご入浴日として開放もいたしました。引き続き二時の癒しの場所としてお使いいただければ幸いです。また、ご協力

又、お届けの際、各自治会役員さんにご理解頂き、ご協力を頂戴いたしましたことに、厚

く御礼申し上げます。尚、被災地の仙台地域に對しましても、同様の支援を実施いたしておりますこと、又現地被災者の皆様へのお見舞いを「義援金」としてお送りできますよう山万グループ災害対策本部受付(ユーカリが丘駅北口山万インフォメーションセンター内)、ウイシユトンホテル・ユーカリフロント、アクア・ユーカリ受付、ユーカリプラザ二階エントランスホールの4箇所に各々義援金箱を設置しています。募金は、日本赤十字を通じて、被災地の支援に役立てられますので、ご協力をよろしくお願い致します。

又、3月26日千葉県水道局より、柏井浄水場で25日に採取した水から、放射性ヨウ素131が検出され、乳児が飲む暫定規制値(1キログラム当たり100ベクレル)を超える値であることが発表されました。佐倉市の水道水への影響は少ないとするものの、この発表によりミネラルウォーターが一気に街中から消える事態となりました。

私どもは、子育て中のお母さん方のお気持ちを感じ、私どもの手の打てることとして、ミネラルウォーターの購入手配をすることができました。

配付対象は、ユーカリが丘二一タウン内にお住まいの皆様のうち、乳幼児(未就学児)1人当たり2.5Lのミネラルウォーター(2L・1本、500ml・1本)を街ギヤラリー(ビックエー隣)で10時~17時まで配付しておりますので、お子様の人数と年齢のわかる書類等をご持参下さい。なくなり次第終了します。些少ではございますがご役立ていただければと思います。

また、ユーカリが丘認可保育所「ハローキッズ」そして「マイキッズ」に對しましても、乳幼児の保育に十分なミネラルウォーターを寄贈しております。

ゆーかーぽ

●「第1回スポーツ鬼ごっこ公式大会」開催と和洋女子大学セミナーハウス

子どもの頃誰もが親しんだ「鬼ごっこ」。それがルールを整え「スポーツ鬼ごっこ」となり、2月19日(土)和洋女子大学セミナーハウスで、全国初の公式大会が開催されました。当日は千葉市や都内からの参加もあり、子どもから大人まで総勢550名余の人々が競技を楽しみました。

ルールは1チーム7人のチーム戦で1試合7分。相手陣地にある宝を取り、ポイントを奪い合い勝敗を決定するというもの。この競技を考案し、本大会を主宰した社団法人「鬼ごっこ協会」の代表・羽崎泰男さん(城西国際大学教授)は、この競技の魅力を次のように話しました。

「サッカーや野球のように特別な道具を扱う技術も必要なく、ルールも簡単、子どもから大人まで誰でもすぐにできるのがこの競技の魅力です。また、勝つためにはどうすればよいかをチームで話したり、声をかけあったりする必要もできます。体を動かすのが苦手、コミュニケーションをとるのが苦手という子どもが増加した現代、子どもたちの体力とコミュニケーション能力の向上が期待できます。」



スポーツ鬼ごっこ



全チーム集合!

なるほど、確かに会場のあちこちでチーム毎に輪になり、戦略を練っている様子が見受けられ、白熱した試合が繰り広げられていました。さらに、プレー中の子どもたちも負けず劣らず大人たちも声枯れるほど応援したり指示をだしたりしていました。

試合終了後の表彰式では、低学年の部、高学年の部、一般の部それぞれの優勝、準優勝チームが発表されたほか、ベスト・ヘルシーキッズ賞や、山万キラキラスマイル賞、鬼ごっこ賞も表彰され、参加した子どもたちはどの顔も満足そうに輝いていました。

「参加者の感想」
「最初、どうやるのかなーと心配だったけど、やってみたらすぐにルールも分かって、すごく楽しかった。いっぱいポイントをゲットできて気持ちよかったです。またやりたい。」(7歳男子)

「1回戦は戸惑っていましたが、その後子どもたちで先攻や後攻の役割分担を話し合い、2回戦は勝ちました。勝ち負けよりも子どもたちが自分で考え、話し合う姿が大変嬉しく思いました。さらに「走る・止まる・曲がる。見る」などスポーツの基本動作がたくさんある、このスポーツ鬼ごっこは素晴らしいですね。」(参加者保護者)



ボランティアの学生やチーバ君もお手伝い

「雪にも負けず、熱い市民パワー」
「第29回ボランティアのつどい」開催される
佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)・佐倉市社会福祉協議会共催の「第29回ボランティアのつどい」が、2月11日(金祝)志津コミュニティセンターにて開催された。当日はみぞれまじりの悪天候にも関わらず、600名を越す参加者で終日賑わった。今年のテーマは「こんなこともボランティア!」に、誰でもいつでも手軽に参加できるボランティアとして、収集活動が展示紹介されていた。市内小中学校では、ペットボトルキャップやアルミ缶のプルタブ、セロテープの芯など、V連では使用済み切手やプリペイドカードを収集していることが地図に書き込まれ、また、収集先の方などについても展示があった。会場ではボランティア団体や福祉施設の手作り品販売、高齢者疑似体験などの体験コーナー、ステージでの発表があり、小中学生から大学生までの若いボランティアが活躍していた。

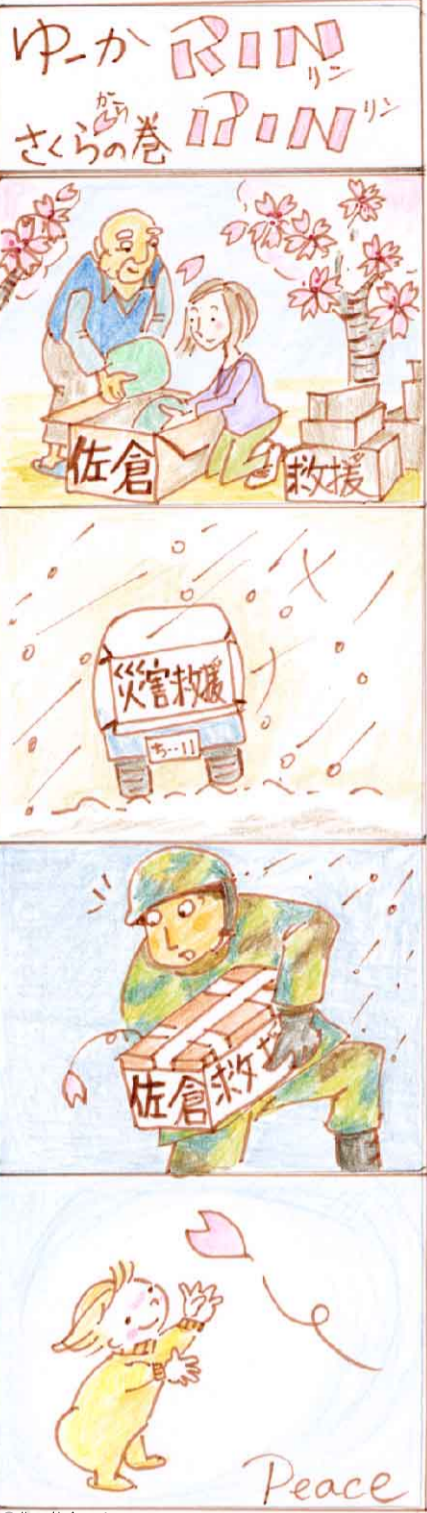
「雪にも負けず、熱い市民パワー」
「第29回ボランティアのつどい」開催される
佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)・佐倉市社会福祉協議会共催の「第29回ボランティアのつどい」が、2月11日(金祝)志津コミュニティセンターにて開催された。当日はみぞれまじりの悪天候にも関わらず、600名を越す参加者で終日賑わった。今年のテーマは「こんなこともボランティア!」に、誰でもいつでも手軽に参加できるボランティアとして、収集活動が展示紹介されていた。市内小中学校では、ペットボトルキャップやアルミ缶のプルタブ、セロテープの芯など、V連では使用済み切手やプリペイドカードを収集していることが地図に書き込まれ、また、収集先の方などについても展示があった。会場ではボランティア団体や福祉施設の手作り品販売、高齢者疑似体験などの体験コーナー、ステージでの発表があり、小中学生から大学生までの若いボランティアが活躍していた。

順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター主催の、今回で5回目となるヘルスプロモーション国際シンポジウムが平成23年2月20日(日)開催されました。今回のテーマは「健康格差社会への提案」～幸せな未来の創造を目指して～。

順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター主催の、今回で5回目となるヘルスプロモーション国際シンポジウムが平成23年2月20日(日)開催されました。今回のテーマは「健康格差社会への提案」～幸せな未来の創造を目指して～。

午前中は、イギリスのサウサンプトン大学教授のジェニ・C・ファリングハム氏の特別講演。午後には、子どもたちの健康教育に携わる地域の皆さんとのシンポジウムが行われました。どちらも200名前後の参加者があり、健康に対する意識の高さを感じました。

午前中は、イギリスのサウサンプトン大学教授のジェニ・C・ファリングハム氏の特別講演。午後には、子どもたちの健康教育に携わる地域の皆さんとのシンポジウムが行われました。どちらも200名前後の参加者があり、健康に対する意識の高さを感じました。



©作 佐倉ハナ



英サウサンプトン大学 ジェニ・C・ファリングハム教授



シンポジウムの様子



村田機械の介護ロボット

「第5回ヘルスプロモーション国際シンポジウムinさくら」開催される
「健康とウェルビーイング」をテーマにした。子どもたちの心身の健康問題への対応には、学校・家庭・地域社会との連携が必要であるとのこと。また、「生きる力」を育むことが重要で、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」が3つの要素でこれを育成することが学

ある。幸福な人々は健康であるということ。政策担当者は経済とwell-beingを改善することを目標とすべきというのが結論です。午後のシンポジウムでは、より実践的な活動を行なっているシンポジストからの報告とディスカッションが行われました。

最後に、ウェルカムパーティーが、シンポジウム参加者をはじめ、藤佐倉市長、順天堂大学の木南学長、ユーカーが丘地区の各団体の代表者の方々などを交え盛大に開催されました。

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育調査官の采女智津江(うねめちづ)氏は、生きる力をはぐくむ健康教育の推進をテーマに話されました。子どもたちの心身の健康問題への対応には、学校・家庭・地域社会との連携が必要であるとのこと。また、「生きる力」を育むことが重要で、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」が3つの要素でこれを育成することが学

最後に、ウェルカムパーティーが、シンポジウム参加者をはじめ、藤佐倉市長、順天堂大学の木南学長、ユーカーが丘地区の各団体の代表者の方々などを交え盛大に開催されました。

●介護ロボット実験

さる1月26日(水)介護老人保健施設「ユーカー優都苑」にて、介護ロボットの実証実験が行われました。まだ開発途上の段階ですが、自走式のロボットで、自分で動作する範囲を記憶し、プログラムに基づいて動き回る姿はまるで人間のようです。障害物も自分で避けることや動くスピードなど、今までのロボットとは次元の違う動きに将来の可能性を感じました。



日本の伝統芸能 櫻太鼓

NPOLレーヴェンがユーカーダンスを披露

【ユーカリが丘地域まちづくり協議会が設立】

平成23年3月27日(日)志津コミュニティセンターにてユーカリが丘自治会協議会及び各諸団体等の役員の方々が出席され、ユーカリが丘地域まちづくり協議会の設立総会が開催されました。変化し続ける地域や急速に進む高齢化、街の活性化や諸課題への対応など、住民はもとより各種団体・組織がそれぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携・協力することで街の活性化や地域が対応できる課題などに、協働してその解決を図っていくことを設立趣旨としています。

会長には自治会協議会特別理事の坪松康隆氏が選出されました。

今後の取り組み課題は高齢化時代における地域の支え合い、見守り制度、防犯・防災について、子育て支援・健全育成について、各種イベントの連携協力について、住民同士のコミュニケーションの場の確保、新たな開発地区のハード整備について、高度情報通信について、通常特急停車推進運動について、環境への取り組みについて、講演会・研修会などの開催について、広報活動について等があります。また、3月11日に発生した東北関東大震災への今後の地域の取り組みとして、いち早く立ち上げた山万グループの災害対策本部とも連携協力し、災害地



坪松康隆会長



ユーカリが丘地域まちづくり協議会設立総会の様子

域情報の共有、各団体の活動状況、要望事項、行政との連携等必要な対策を協議する「ユーカリが丘地域まちづくり協議会」を設立することが決まりました。

- (上記各種団体等名)
- ①ユーカリが丘地区自治会協議会
 - (1)自治会 (2)町内会
 - ②ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 - ③ユーカリが丘商店連合会
 - ④井野小学校PTA
 - ⑤志津小学校PTA
 - ⑥小竹小学校PTA
 - ⑦青菅小学校PTA
 - ⑧防犯団体
 - ⑨環境団体
 - ⑩福祉団体
 - ⑪高齢者団体
 - ⑫事業者・企業
 - ⑬その他

サークル・クラブ紹介

上座イーグルス

上座イーグルスは佐倉市に登録する一般男子のソフトボールチームです。結成以来30年余、佐倉市内外の20～60歳の幅広い年齢層で構成され、和気藹々をモットーにプレーしています。毎週日曜日の午前中、上座公園のグラウンドで活動中。練習以外にも家族で楽しめる花見会、バーベキュー大会、忘年会等も行っていきます。プライベートも一緒に楽しみましょう。18歳以上の男性(佐倉市以外の方も可)、年齢不問、経験不問、及び女性マネージャーを募集しています。



上座イーグルスの皆さん

お問い合わせ
☎060(4646)6886
E-mail ymoriki@yahoo.co.jp
(〒0)

「東日本大震災」被災者支援チャリティイベント
第28回 緑のまつり

がんばろう日本!

「東日本大震災」で不幸にして被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。我々、ユーカリが丘商店連合会では今回のチャリティイベントを通じ被災された皆様に多少なりともお役に立ちたいと考えています。会場に集まる大勢の方々に震災復興支援を呼び掛けると共に、チャリティイベントの開催や義援金募金箱の設置等で具体的な支援活動を行いたいと思っております。また、地域の防災対策の視点からも様々な情報をお伝えすることが出来れば、これからの教訓になると考えます。被災者のみならず今回の大震災で心を痛める多くの方々への強いエールになる事を願い、ここに第28回緑のまつりを開催いたします。

ユーカリが丘商店連合会 会長 三橋修

イベント

- 消防音楽隊の吹奏楽や模擬店も多数開店!
- 地元サークル等によるパフォーマンスステージ
- 体験! 防災コーナー 消防はしご車乗車体験 起震車による地震体験
- 地元新鮮野菜や種苗・花などの即売会
- ユーカリが丘ふれあいウォーキング
- 「東日本大震災」被災者支援のための義援金募集

4/29 祝 小雨決行
AM 10:00~PM 4:30 (予定)
イオンユーカリが丘平面駐車場

主催: ユーカリが丘商店連合会 ●お問い合わせ ☎043-463-0784

●佐倉草ぶえの丘「五月祭」
5月3日(水)~5月5日(金)
※こどもの日5月5日は中学生以下入園無料

●ローズフェスティバル
2011年5月28日(土)~6月5日(日)

※草ぶえの丘内バラ園では1050種、25500株のヘリテージローズが見頃を迎えます。

ストリートオルガンの演奏、フォトU写真展(はらと印旛沼の展示他多数、山野草の展示と園芸相談(野草会)バラの版画展 in ローズテラス

●各種教室(ワークショップ版)



草ぶえの丘オールドローズガーデン

●利用案内
入場料 一般400円
小・中学生300円

●お問い合わせ
お問い合わせ・お申し込み
日時・詳細につきましては草ぶえの丘までお問い合わせください。

画作り、寄せ植え講習会、ハンキングバスケット教室、ミニチュアアート教室他)

※教室関係「要予約・有料」

●お問い合わせ
お問い合わせ・お申し込み
日時・詳細につきましては草ぶえの丘までお問い合わせください。

ベジたうん

☎312-2991
ユーカリが丘4-1-4ユーカリプラザ1F
3/31(木)オープン

営業時間/10:00~20:00
定休日/無休

地元・千葉県産を中心に
全国の産地から生産者直送で
新鮮食材をお手元へ!!

レディスファッション
felice (フェリーチェ)

☎308-4018
ユーカリが丘4-1-4ユーカリプラザ2F
3/19(土)オープン

営業時間/10:00~20:00
定休日/無休

おしゃれな女性に向けた
好感度のワールド商材を
揃えたセレクトショップ

カット&ヘッドスパ
美禪 (ビゼン)

☎312-2104
ユーカリが丘4-1-4ユーカリプラザ3F
3/16(水)オープン

営業時間/10:00~20:00
定休日/無休

全てのメニューに
ヘッドスパがついた「新基準」
のヘアサロンです。

新規店舗オープン情報

幼児150円
開園時間 午前9時~午後5時(入園は4時まで)

●お問い合わせ・お申し込み
佐倉草ぶえの丘指定管理者
山万グループ ワイ・エム・メンテナンス株式会社
佐倉草ぶえの丘
☎(485) 7821
FAX (486) 1854
URL http://kusabue.
shteikari-sakura.jp
E-mail info@kusabue.
shteikari-sakura.jp

●体験ボウリング教室
いま、健康スポーツボウリングがにわかに注目されています。ボウリングは、老若男女を問わず手軽に楽しめるスポーツです。全国で日頃からボウリングを楽しまれている方の中には、明治生まれの99歳の方もいらっしゃいます。(社)日本ボウリング協会調べ

ユーカリ・ボウルでは、月2回

●ユーカリ・ボウル、4月2日(土)満を持してリニューアルオープン致します。

2011年4月2日(土)、「楽しさと健康」がテーマのユーカリ・ボウルが、県内初の30レーンマルチスクリーンと最新コンピュータースコアシステムを導入してリニューアルオープン!多彩なアニメーション画像と、マルチスクリーン連動イベント開催で、ボウリング場が更にエキサイティングに生まれ変わりました。

一日数回、突然館内の照明が暗くなり大型スクリーンが目の前に現われます。それがイベントタイムのはじまりです。「ストライクチャレンジ」または「ボールポンプゲーム(風船割り)」に挑戦していただきます。

ゲームの上位チームの皆様はユーカリ・ボウルよりプレゼントがご用意されています。

◆わがまちの人口

住所	世帯数(戸)(前同比)	人口(人)(前同比)
ユーカリが丘1丁目	717 (-7)	1,879 (-18)
ユーカリが丘2丁目	465 (-1)	1,183 (-18)
ユーカリが丘3丁目	153 (+0)	418 (+4)
ユーカリが丘4丁目	890 (+4)	2,120 (-16)
ユーカリが丘5丁目	403 (-1)	1,031 (-8)
ユーカリが丘6丁目	213 (+4)	557 (+7)
ユーカリが丘7丁目	455 (+5)	1,418 (+6)
宮ノ台1丁目	381 (+5)	1,020 (+8)
宮ノ台2丁目	424 (-2)	1,096 (-8)
宮ノ台3丁目	208 (-2)	593 (-7)
宮ノ台4丁目	323 (+3)	904 (-1)
宮ノ台5丁目	246 (+4)	723 (+9)
南ユーカリが丘	1,005 (+0)	2,511 (+10)
井野東土地区画整理事業	248 (+53)	644 (+158)
計	6,131 (+65)	16,097 (+126)

平成23年3月末現在・佐倉市役所調べ

体験ボウリング教室担当
プロボウラーと女性アシスタント

県内初導入☆30レーンマルチスクリーン

携帯電話 http://www.aquayukari-web.com
just.st/307671/

●お問い合わせ
☎(488) 1110
FAX (488) 0112
URL http://www.aquayukari-web.com

●営業時間
午前9時~午後10時

●所在地
佐倉市ユーカリが丘3-2-11

●お問い合わせ
☎(488) 1110
FAX (488) 0112
URL http://www.aquayukari-web.com

携帯電話 http://www.aquayukari-web.com
just.st/307671/

体験ボウリング教室を開催しています。プロボウラー2名とアシスタントの女性スタッフが「ボウリングは初めて」という方にもやさしく丁寧にレッスンを致します。

あなたもこれを機会に生涯スポーツ、ボウリングを始めませんか。

京成ユーカリが丘駅に快特の停車を実現させましょう。